

交流の郷旭

市長 明智忠直



一月に開催された地域振興交流会で、全国に千店舗以上のチェーン店を展開する「カレーハウスCoCo壱番屋」の創業者、宗次徳二先生の話を聞かせてもらいました。幼少期の苦労や経営理念、自身の信念、哲学など、私たちに驚きと感動を与える内容でありました。

全国に店舗展開をしている話の中で、旭市の場所を、銚子市の手前の旭市という表現をされていました。確かに銚子市の知名度は産業や歴史など、全てにおいて全国的でありますが、旭市もいつかその存在を大きく知らしめることができるよう、努力を重ねていきたいと考えております。それには、これからも交流の郷づくりなど、知名度アップを図っていかねばと、強く感じたところでありました。

旭中央病院、道の駅季楽里あさひ、恋する灯台の刑部岬などはかなり知名度があると思いますが、これらを

生かし、さらに新たな旭市の魅力を発信していかなければ、存在感を感じてもらえないと思います。

知名度を上げる意味でもイベントの開催は重要であります。その一つに、先日行われた旭市飯岡しおさいマラソン大会があります。北は北海道、南は鹿児島から3、213人の参加がありました。応援に来てくれた方々を含めると、およそ2万人の方々が来場してくれたと思います。猫ひろしさんらをゲストランナーに迎え、暖かい日差しの中、大変盛り上がった大会になりました。ボランティアの皆さんの温かいおもてなしによって、参加者の皆さんにも旭市の良さを感じてもらえたと思います。今後も各種まつりやスポーツイベント、文化交流などに力を入れていき、旭中央病院や道の駅、幽学の里、刑部岬など旭の宝を利用して、さらに知名度アップを図っていききたいと考えているところです。



市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／1日(金)～5日(火)、20日(水)、21日(木・祝)、毎週月曜日

岡市図書館 ☎62-2560 <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「新宿の猫」

ドリアン助川 著
(ポプラ社)



構成作家の卵の「ボク」は、将来への不安を抱えつつ居酒屋の女性店員に引かれていく。不器用な二人の絆に心を打たれます。

「姫君の賦」

玉岡かおる 著
(PHP研究所)



大坂城落城後、本多忠刻に再嫁した千姫は、いわれなき悪名や苦難に翻弄される。天下泰平と家のため懸命に生きた女性を描きます。

新着図書

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ● 私が食べた本 (村田沙耶香) | ● エースの遺言 (久和間拓) |
| ● 残業学 (中原淳) | ● 骨まで愛して (小泉武夫) |
| ● 生命科学の未来 (本庶佑) | ● 青山に在り (篠綾子) |
| ● 還暦着物日記 (群ようこ) | ● 悲願花 (下村敦史) |
| ● 旅する舌ごろ (白洲信哉) | ● テレビ探偵 (小路幸也) |
| ● ビレッジプライド (寺本英仁) | ● 則天武后上・下 (塚本青史) |
| ● 辞書編集、三十七年 (神永暁) | ● わが天啄木 (鳥越碧) |
| ● 平場の月 (朝倉かすみ) | ● ほどなく、お別れです (長月天音) |
| ● 跳ぶ男 (青山文平) | ● フランス座 (ビートたけし) |
| ● 珠玉 (彩瀬まる) | ● リコール (保坂祐希) |
| ● 髪結百花 (泉ゆたか) | ● 開成をつくった男、佐野鼎 (柳原三佳) |
| ● 月まで三キロ (伊与原新) | ● 本と鍵の季節 (米澤穂信) |
| ● 麒麟児 (沖方丁) | ● 80歳のマザーグース (桐島洋子) |
| ● 帰去来 (大沢在昌) | |

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／3月14日(木)・28日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館